

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	上久堅簡易水道施設整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	水道環境部	課等名	水道課		包含する細々目	9	2	1	4	10	1	245,000
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	45 居住基盤の向上											
実施区分	継続	会計	簡易水道	環境調整会議	済み	関連計画 条列等						関連計画 ... 無し 法 ... 水道法 条列 ... 飯田市簡易水道設置条例
		事業期間	10	年度～	22	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	上久堅(米川簡水区域を除く)地区の世帯です。	給水区域内戸数 戸	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			410		400	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	上久堅地区に、安全、安心な飲料水の安定供給を図ります。	水道普及率 給水可能戸数 / 給水区域内戸数	18目標	23	最終目標	100
			18実績	53	19目標	68
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	本事業は上久堅地区(米川簡水区域を除く)を対象に簡易水道施設を新たに整備する事業。 供用は、19年度から順次開始予定。 全体計画 ・給水人口 1,322人 ・加入予定世帯数 410戸 ・1日最大配水量 368m3 / 日 ・水源 表流水 2箇所(ろ過方式 凝集沈殿急速ろ過) ・浄水場 1棟 ・配水池 4池 ・導水管 L = 4,000m ・配水管 L = 27,210m	18年度の実績 ・配水池築造 1池 上平配水池築造 V = 140m3 ・用地買収及び物件補償 上平、馬場垣外配水池用地 A = 737㎡ ・配水管布設 L = 12,128m ・工事(水道加入)地元説明会 2回	整備済配水管延長(累積) m	14480
	19年度計画	・配水池築造 1池 馬場垣外配水池築造 V = 110m3 ・配水管布設 L = 4,000m ・工事(水道加入)地元説明会 2回	整備済配水管延長(累積) m	18480

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金	177,100	96,000
	県支出金		
	起債	253,700	144,000
	その他		1,000
一般財源	22,450	4,000	
事業費計(A)	453,250	245,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 3,000	19年度 2,400
	臨時職員等所要時間	1,000	1,200
	人件費計(B)	11,803	9,872
	トータルコストA + B	465,053	254,872

特定財源内訳や補足事項	国庫補助金 補助率 4 / 10 簡易水道事業債 充当率 100% (消火栓設置費、単独費除く)
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	居住基盤の向上(水道水の安全、安定供給)	水道普及率	現状値	98.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	98.5
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 平成9年、上久堅自治会から水量不足や民営水道施設の維持管理が困難になってきたため公営水道の要望がありました。	事業を取り巻く状況の変化 平成19年度、簡易水道補助事業の見直しにより、飯田市簡易水道事業統合計画策定が必要になりました。	事業に対する市民や議会の意見 平成9年 市長へ地元自治会から公営水道新設の陳情がありました。 平成11年地元水源使用の要望がありました。(地元民営水道組合から) 地元からは、早く供用を開始してほしいという要望があります。
---	--	---

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 水道水の安全、安定供給することにより、居住基盤の向上に結びつきます。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がない (その理由) 上久堅計画給水区域の周囲は既に公営水道が整備されているため、この地域に限られます。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 上久堅地区で、公営水道未普及地区に限られるので、見直しの必要はありません。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 水道水の安全、安定供給ができません。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 整備することにより、安全で安定した飲料水の供給ができます。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 上久堅簡易水道の事業認可により事業実施しているため、他の地区との統合は有りえません。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 市民生活に直結する事業であり、水道法第二条及び二条の二で、国及び地方公共団体は水道施設及び整備について、必要な施策を講じ、実施しなければならないと規定されている。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 可能 (その理由) 発注時点の積算において、コスト縮減に努めることにより、事業費の縮減が可能です。
		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 受益者は上久堅簡易水道の利用者であり、加入者負担金と水道使用料金で賄います。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 22 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 毎年継続的に、工事のコスト縮減を図ります。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	